

科目名	ボランティア概論				
担当者氏名	新堀 春輔				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 教養教育-1 国際社会に貢献できる人材育成 ◎ 教養教育-2 豊かな人間性の醸成 ○ 教養教育-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》

ボランティアに関する基本的な知識についての講義の他、地域課題とその解決のためにボランティア活動がどのような役割を担うことができるのかをワークショップ形式で考えます。また、実際に様々な課題に取り組まれているボランティア活動についての事例調査を行い、広い視点でボランティア活動とそれが社会に与える影響・可能性について考えます。講義及びワークショップ、事例調査等を織り交ぜて実施します。

《授業の到達目標》

ボランティアについての基本的な考え方・知識を理解した上で、ボランティア活動（市民による社会参画）が社会に与える影響や可能性について考え、理解することを目標とします。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度及び、演習・ワークショップ等への主体的な参加、発表内容等） 60%、レポート 40%

《テキスト》

特になし
適宜、参考資料を配布します。

《参考図書》

岡本榮一・菅井直也・妻鹿ふみ子（2006）『学生のためのボランティア論』大阪ボランティア協会出版部
早瀬昇・水谷綾・永井美佳・岡村こず恵 他著（2011）『テキスト市民活動論-ボランティア・NPOの実践から学-』社会福祉法人大阪ボランティア協会

《授業時間外学習》

授業内で身近な社会課題の分析とその解決のためにできる市民活動について考えるワークショップや、ボランティア活動事例の調査を行います。それぞれグループを作って行い、授業内でも時間を設けますが、必要に応じ授業外での準備をすることがあります。

《備考（教員経験の有無）》

ワークショップやグループワークを織り交ぜて授業を進めますので、主体的な参加を心がけてください。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	「ボランティア」のイメージの共有【ワークショップ】
2	ボランティアの理解①	ボランティアの歴史と概念【講義】
3	ボランティアの理解②	ボランティア活動の意義【講義・ワークショップ】
4	ボランティアの理解③	ボランティアとその活動の捉え方【講義・ワークショップ】
5	ボランティアと市民社会	ボランティアと市民社会の関係、ボランティアコーディネートの視点【講義・ワークショップ】
6	ボランティア活動事例調査①	興味のある分野のボランティア活動（市民活動団体の取組等）についてグループで調査【グループワーク】
7	ボランティア活動事例調査②	興味のある分野のボランティア活動（市民活動団体の取組等）についてグループで調査。発表準備【グループワーク】
8	ボランティア活動事例調査発表①	調査したボランティア活動（市民活動団体の取組等）をグループ毎に発表
9	ボランティア活動事例調査発表②	調査したボランティア活動（市民活動団体の取組等）をグループ毎に発表
10	地域の課題とボランティア活動①	身の回りの「気になる社会の課題」とその解決のためのボランティア活動について考えるワークショップ【グループワーク】
11	地域の課題とボランティア活動②	身の回りの「気になる社会の課題」とその解決のためのボランティア活動について考えるワークショップ【グループワーク】
12	地域の課題とボランティア活動③	身の回りの「気になる社会の課題」とその解決のためのボランティア活動について考えるワークショップ【グループワーク】
13	グループワークの成果発表	地域の課題とボランティア活動についてのグループワークの成果発表
14	グループワークへのフィードバック	グループワークの成果に対し、グループ内及び全体でのフィードバックを行う
15	まとめと全体ふりかえり	全15回の講義のまとめとふりかえり